

AI・生成AI活用に関する法律知識とリスク管理【オンラインライブ】（4126052）

AI、生成AIを自社の業務や社内システムに利用する場合、自社サービスとして提供する場合の法律知識を学びます。

開催日時	2026年4月24日（金） 13:00-17:00ライブ配信	
JUAS研修分類	共通業務（契約・法務・コンプライアンス）、データ・AI活用・技術動向（AI・新技術	検証）
カテゴリー	共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査	専門スキル
DXリテラシー	How（データ・技術の活用）：留意点	
講師	尾城亮輔 氏 （尾城法律事務所 弁護士） ITストラテジスト、ソフトウェア開発技術者、基本情報処理技術者 経済産業省「AI・データ契約ガイドライン」検討会 作業部会構成員	
参加費	JUAS会員企業/ITC：23,650円 一般：30,250円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】	
会場	オンライン配信（指定会場はありません）	
開催形式	講義	
定員	25名	
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）	
ITCA認定時間	4	

主な内容

■受講形態

ライブ配信（Zoomミーティング）【セミナーのオンライン受講について】

■テキスト

開催7日前を目途にマイページ掲載

■開催日までの課題事項

特になし

AI、生成AIを自社の業務や社内システムに利用する場合、自社サービスとして提供する場合の法律知識を学びます。

◆主な内容

第1部AIと生成AIについての法律知識

1 AI開発契約の特徴

2 データについて知っておくべき法律知識

3 AI開発の知的財産権

4 AIの品質保証

5 AI利用契約

第2部 生成AIと著作権

1 著作権法30条の4

2 生成AIの利用と著作権侵害

第3部 AI活用と個人情報保護法

1 個人情報保護法とは

2 個人情報・個人データの範囲

3 個人情報保護法の主な規定

4 生成AIと個人情報保護法

第4部 AIの実務業務への利用と留意点

1 生成AIを自社の業務フロー／社内システムに組み込む場合

- (1) 事例
- (2) 企業として注意をすべきことは何か
- (3) 生成AIサービス提供会社の利用規約には何が書いてあるか

2 生成AIやその出力結果を自社サービスとして提供する場合

- (1) 事例
- (2) 企業として注意すべきことは何か
- (3) 利用規約作成のポイント